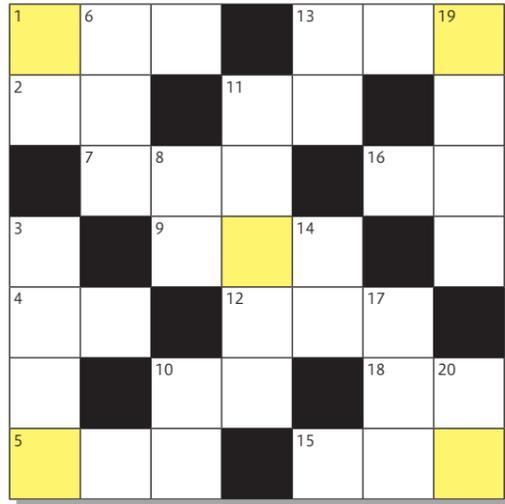


こえ 声 こえ

「ふれあい」第85号をお読みになった読者の方より、多数のおたよりが寄せられました。ありがとうございます。紙面の都合上、その中のいくつかを紹介いたします。これからもみなさんの「声」をお届けいただくと幸いです。

- ◆夫を見送り、一人になり寂しい誕生日を迎えようとした日、ナターシャさんの話、歌声、珍しい楽器の音色を聞き、私も一生懸命生きようという力をもったように思います。次回も出席したいと思えます。(M. Tさん)
- ◆『ふれあい』を拝読するたびに、人権、命について、深く考えさせられます。(U. Yさん)
- ◆いつも参考になる情報をおもしろく読ませて頂いています。人権問題というと、難しい印象があり、子どもにはなかなかとつきにくい所があるように思いますが、身近な問題であり、子どもにも関係があることから、子どもも気軽に参加出来るようなイベントを今後計画して頂けると嬉しいです。(M. Kさん)
- ◆多くの部会で、多方面から人権の教育にアプローチされ、とてもすごいと思えます。みなさんの本気とやる気がないと継続できない活動だと思えます。(M. Mさん)



■ 応募方法 ■ (郵送、FAX、E-mailいずれかをお願いします)

● 答え・住所・氏名を巻末の用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷市29-3 人権協事務局 (生涯学習センターなびあす内)
※ FAX(0770-32-1222)
E-mail(jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp)



感想や
ご意見も
お願いします。

- べ切は、令和7年9月19日(金)です。(当日消印有効)
- 正解者の中から抽選で、図書カードをお送りします。
- 前号の人権クロスワードの正解は「たようせい」でした。たくさんのご応募、ありがとうございました。正解者は10名でした。今回の当選者は **池田 夏毅さん 木村 彩乃さん 重兼 光良さん 森井 混太さん 森久 利美さん** 以上の皆さんです。おめでとうございます！

人権クロスワードパズル 黄色のわくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヨコのカギ

1. 世界で一番面積の広い国は？
2. じゃんけんで出す形の一つ。
4. 腰を掛けるときに使う道具。
5. 宝石の一種。7月の誕生石。紅玉とも呼ばれます。
7. シベリアから北ヨーロッパにかけての地域に広がる針葉樹林帯のこと。
9. 座席のこと。ボックス○○○、チャイルド○○○、○○○ベルトなど。
10. ボウリングで倒すもの。
11. その人に本来そなわっている品位・性格のこと。「○○に合わない」など。
12. 危険の生じる可能性のこと。ハイ○○○、○○○マネジメントなど。
13. 東京ドームの愛称「ビッグ○○○」。
15. ブラジルの民族舞踊で、軽快で速いテンポが特色。
16. 鍵のこと。○○パーソン、マスター○○、○○ホルダーなど。
18. 茨城県の都市。敦賀市と姉妹都市。偕楽園や納豆で有名。

タテのカギ

1. コンピューターの操作記録のこと。○○イン、○○オフなど…。
3. 日本一深い湖は田沢湖。世界一深い湖は○○○○湖。
6. ギリシャ文字の8文字目。θと書き、主に角度を表す記号として使われます。
8. 【ヨコ2】はコレを象徴していると言われます。
10. アルファベットの一つ。AT車で駐車するときに入れる場所です。
11. 世界初の宇宙飛行士ユーリイ・○○○○○。「地球は青かった」という言葉を残したとされています。
13. 魚などの水中の動物が呼吸するのに必要な器官。鰓と書く。
14. バレーボールで、味方選手にボールを上げること。
17. 香辛料として使用されるセリ科の一年草。ソーセージやスープなどでの利用が多い。
19. 日本一広い島は択捉島。世界一広い島は○○○○ランド。
20. 日本最大のカルデラ湖は屈斜路湖。世界最大のカルデラ湖は○○湖。

編集後記

◆広報誌ふれあいを手に取っていただき、誠にありがとうございます。エネルギーと環境について考える機会を得ましたので、今回はそれと人権とを結びつけて考えたことをお伝えしたいと思います。◆今、世界の平均気温は、昔より1.1℃高くなっています。たった1℃と思うかもしれませんが、この変化は大きな影響をもたらしています。日本でも近年猛暑日が増えたり、大雨や台風による災害が多くなったりしています。さらに心配なのが、海面の上昇です。氷が溶けたり、海水が膨張したりして水位が昔より20cm上がり、小さな島の国では、住む場所を失う人たちも出てきています。水が足りず、食べものを育てるのが難しくなっている地域もあります。◆「安全に暮らし、健康に生きること」は、すべての人にとって

最も大切な権利ですが、地球温暖化はその権利をおびやかしているといえます。◆温暖化を食い止めるためにわたしたちにできることは小さな行動の積み重ねです。たとえば、電気をこまめに消す、エアコンの設定温度を工夫する、ごみの量を減らす、食品をむだにしない、移動は車より歩く・自転車を選ぶ。こんな身近なことでも、地球を守ることに繋がります。1.1℃の変化と海面上昇は、遠い国の出来事のように思えるかもしれませんが、今のわたしたちの暮らしも、未来の子どもたちの暮らしも関わっています。◆人権に関する情報発信が大きな役割のこの広報ふれあいです。今後もぜひ手にとっていただき、人権協の活動へのご参加、ご支援、ご協力をよろしく願っています。(西)

美浜町人権尊重啓発協議会会報
第86号
発行: 令和7年7月23日 (年3回発行)
編集: 人権協広報部会
連絡先: 美浜町生涯学習推進課
TEL 32-1212
FAX 32-1222
人権協HPができました!
https://mihama-jinkenkyo.jp/



第1回町民人権講座

三方良しの「場」+「人」+「仕掛け」

【講師】 東京都健康長寿医療センター 研究所副所長

藤原 佳典 さん



5月31日(土)、東京都健康長寿医療センター研究所副所長の藤原佳典先生をお迎えして、「人生100年時代を生き抜く4つの知恵」と題して、今年度第1回目の町民人権講座が開催されました。

まず、健康長寿の秘訣については2000年には老化予防と生活習慣病予防が柱とされて個人の自助努力が大切であると言われていました。しかし、現在では、お互い様の考え方で地域でちょっとした心遣いやおせっかいの重要性が見直され、健康長寿は自助から互助へ変化してきていることが紹介されました。

次に、健康長寿と深くかかわる、介護の前段階であるフレイル予防について、栄養・運動・社会参加など、具体的に日々の生活の中で取り入れることができることをお示しいただきました。この中でも、人権という視点から言うと、特に社会参加の重要性と社会とのつながりを持つことによる、健康への影響についてもお話いただきました。

中でも、心に残ったことが「フレイル予防や介護予防は何のために行うのか」という投げかけでした。

私たちは、健康を目的に生きているわけではありませんが、人として生きていく上で、人は生理的欲求はもちろ

んですが、社会的欲求や自己実現の欲求等、いろいろな欲求を持ち、自己実現に向かって絶えず成長すると言われて

ています。つまり、年齢を問わず、日々の暮らしの中で人と交流し、自分も楽しみながら、他者も幸せにすることで、自分自身の健康につながる、という生きがいを持ち暮らすことの重要性を改めて見直すことが必要です。そのためには、令和流の地域の繋がりをつくる仕掛けと仕組みが必要であること、その仕掛けと仕組みは住民と行政がともに力を発揮する中でつくられていくと改めて感じた講演でした。

美浜町の中にも、地域で活動の場を定期的に設け、自主運営をされているグループがあります。高齢社会の中で、コロナ禍以降、地域でのつながりが薄れてきていると感じていますが、このような活動の重要性に改めて気づかされたお話でした。

「私たちの活動が、先生のおっしゃる活動ですよ」帰る間際に、来場者のお一人が笑顔でおっしゃる姿が印象的な講演会でした。

どうしても食事、運動が大切だと思いがちだが、人とのつながりが大事なのだと感じました。若い人とのつながりや高齢の方とのつながりを大事にしていきたい。

高齢者に関する仕事やボランティアをやっているのが、大変参考になりました。高齢者カフェも主催しているので、スタッフとの交流の為に今回の資料を使わせていただきます。「感動」が生きがい続ける秘訣と信じているのでこれからも頑張りたい。

こんないい機会をもっと多くの方に広めてあげたいと思います。各種団体(区)への働きかけが必要だと感じました。

私自身微力ですが「誰かの役に立ちたい」「世の中の為に何か恩返しできることはないか」と日々考えて、今日の講座を楽しみに来ました。明日からも何かひとつでも出来たらと思います。

第2回町民人権講座 “気づき”を歌に込めて

【シンガーソングライター】佐藤 ひらり さん

7/6 sun



7月6日、第2回町民人権講座が開催され、シンガーソングライターの佐藤ひらりさんによるトーク&コンサートが行われました。コンサートでは、ひらりさんの透き通った美しい歌声が披露されただけでなく、ひらりさんのこれまでの経験から感じたり学んだりされたことが語られました。披露された楽曲とメッセージの主な内容は以下の通りです。

- ・「Jupiter」(平原綾香)：ひらりさんの出身地である新潟県の「長岡花火」で毎年打ち上げられる、復興への思いが込められた「フェニックス」という花火のバックで流れる曲として紹介されました。
- ・「みらい」(オリジナル曲)：東日本大震災をきっかけに、ひらりさんが小学4年生の時に作曲された曲です。この曲は、避難所で「目が見えない」「車椅子だから」「障がいがあるから」といった理由で入所を断られる人がいたということを知った経験から、「バリアフリーとは何か」を問いかけ、「心の目を開いて明るい未来に進んでいこう」というメッセージが込められています。この曲のCD売上は震災遺児へ寄付されました。
- ・「ほめられて伸びる子行進曲」(オリジナル曲)：「褒められるとちょっと頑張りたくなる」という自身の経験から、大人になっても褒められることの大切さを訴えかけました。
- ・「なな色の夢」(オリジナル曲)：「未来」のアンサーソングとして作られ、目が見えなくても概念として捉える「色」を用いて、多様な人々の心に寄り添いたいという思いが込められています。
- ・「Get in touch!」(オリジナル曲)：「普通」や「みんなと同じ」という枠に収まらず、「みんな違って大丈夫」であり、多様な人々が共に生きる世界を肯定するメッセージが込められています。
- ・「糸」(中島みゆき)：人と人との出会いや縁の大切さをテーマに歌われました。
- ・「恩返し ～満開の笑顔～」(オリジナル曲)：5歳の時に母親の紹介で老人ホームで歌うことになり、おじいちゃんおばあちゃんから「ありがとう」と感謝されたことが音楽を続ける原点になったと語り、「ありがとう」という感謝の気持ちを込めて歌われました。

ひらりさんは、目が見えないことで得た多くの気づきを語り、歌を通して人々の心がつながる喜びを伝えました。また、美浜町の福祉や人権への取り組みを高く評価され、来場した方の行動そのものが素晴らしいと称賛されていました。今回の講演は、ひらりさんの明るく前向きな歌声とメッセージを通して、人々が互いを認め合い支え合う社会の実現に向け、大きな希望を与えてくれる貴重な時間となりました。

高音で澄み切った伸びやかな歌声にとても癒されました。明日から常に周りの人たちに感謝の気持ちを忘れず「ありがとう」と言えるようにがんばりたいです。

今日の音楽と講演ほど心を打たれたことがないと思います。多くの人たちのつながりの中で生きていることの喜びが心から伝わってきました。

最近、何となく心がふさぐ日々を送っていた私。ひらりさんの力強く優しく、伸びやかな歌声と障がいをものともせず、明るくて前向きな姿に励まされ、心が浮き立ち、晴れやかな時間を過ごさせていただきました。

2025年度 町民人権講座 会場はいずれも なびあす

| No. | 日時 | 演題 | 講師 | スタイル | テーマ |
|-----|-------------------------------|--|--|------------------|-----------------------|
| 第1回 | 5月31日(土) 14:00~ | 講演 「人生100年時代を生き抜く4つの知恵」 | 藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所 副所長) | 講演 | 高齢者 介護予防 フレイル予防 |
| 第2回 | 7月6日(土) 14:00~ | 佐藤ひらり トーク&コンサート | 佐藤 ひらり (シンガーソングライター) | 講演 + コンサート | 障がい |
| 第3回 | 8月2日(土) ①14:00~ ②18:30~ | 映画 『52ヘルツのクジラたち』 (上映時間 約135分) | 過去を断ち切って東京から大分の海辺の町へと移住してきた三島貴瑚は、移住先で13歳の少年と出会う。虐待を受けていた少年を見た貴瑚は、自身のかつての姿と少年を重ね合わせて、「聞き逃した声に対する贖罪」として少年を助け出そうと試みる。 | 映画上映 | 孤独 虐待 繋がり |
| 第4回 | 9月6日(土) 14:00~ | 講演 「エンタメでエンパワー」 ～“わたしらしく”は私が決める～ | 吉田 恵里香 (連続テレビ小説「虎に翼」脚本家・小説家) | トークショー | 人権全般 |
| 第5回 | 10月23日(木) 19:00~ | 講演(仮題) 「いま君のいる場所だけが、世界のすべてじゃない」 | 副島 淳 (俳優・タレント) | 講演 | 多様性 子ども |
| 第6回 | 11月18日(火) 19:00~ | 講演(仮題) AbemaTV「Wの悲喜劇」 “部落ちてナニ?”で伝えたかったこと | 鎮目 博道 (映像プロデューサー・ライター・シーズメディア代表) | 講演 | 部落問題 |

※様々な事情で、延期・中止になる場合がございます。ご了承ください。

「人権のまち・美浜をめざして」

人権協・部会紹介(全7部会)

会長
河合 政志

副会長
辻井 雅之

副会長
森本 哲

副会長
大塩 友之

人権擁護・啓発部会

部会長 高木 正

前田 啓志 高木 健吾
 知場 富雄 中牟田 春子
 上登野 栄子 高橋 一男
 石丸 悦子 軍場 康代
 内田 順子 森田 美恵子
 武田 晋 津原 奈生 山口 和哉

夏フェスタでの人権啓発活動

人権週間を中心に啓発活動を行います。推進委員相互の交流や研修を行います。

広報部会

部会長 西野 泰弘

川畑 成央 山野 泰孝
 中川 貴寛 兼田 和雄
 高木 隼 野原 啓
 武田 達也 安藤 真海

広報ふれあいのクロスワードパズル

年3回広報「ふれあい」を発行し、人権に関する情報や人権協などの活動に関する情報を提供します。

啓発資料・人権協コーナー部会

部会長 三好 万里子

森井 みどり 上道 正二
 山口 有一 福嶋 智恵美
 池田 直美 繁田 祐香
 後藤 菜 川畑 順一
 大野 康弘 前川 理子

人権コーナーの取り組み

人権について、身近に考えていただけるような啓発資料「ふれあい」を発行します。人権週間中に、人権協コーナーを開設します。

作品公募・意識調査部会

部会長 渡辺 直史

木谷 浩章 高木 誠
 高橋 修 藤本 純子
 萩原 敦子 丸山 俊平
 八田 淳平 今安 沙都子
 山本 由加

人権作品表彰式の様子

人権作品(短い手紙、絵・ポスター、写真)の公募を行い、入賞作品は人権作品集「ふれあい」として発行します。令和4年に実施した「人権に関する町民意識調査」の活用について検討します。

町民人権講座部会

部会長 高木 賢治

竹仲 敏春 脇田 幸子
 浜野 裕介 松崎 大和
 飯田 裕太 原田 宗汰
 竹内 洋子 田中 優太郎

第1回町民人権講座の様子

年間6回の講座を開催し、広く町民に人権に関わる学習機会を提供します。

推進団体学習部会

部会長 寺田 真一

塚原 仁朗 桑原 正樹
 幸丈 佑馬 田邊 拓登
 田辺 桂子 田辺 憲虎
 藤村 晋也 渡邊 理佳

集落代表評議員研修会の様子

集落・企業・団体等の自主的な学習会の開催を支援します。

人権のつどい部会

部会長 木子 雅之

加藤 美千代 中嶋 さき子
 河合 美恵子 野原 佐智夫
 磯辺 大地 本間 博美
 一瀬 憲幸 平城 博之
 関口 陽子

人権のつどい2024
ナターシャ・グジー コンサート

人権週間の意義を踏まえ、12/6(土)に「人権のつどい2025」を開催します。

人権のまちづくりをめざして、いっしょに活動してみませんか!

- ・人権協では、一緒に活動してくれるスタッフを募集しています。
- ・ご関心がありましたら、人権協事務局までぜひお知らせください。

〒919-1141 美浜町郷市 29-3 人権協事務局 (生涯学習センターなびあす内)
 TEL : 32-1212 FAX : 32-1222 Mail : jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp